

「産屋にみる空間的、時間的隔離の諸問題」

産屋は遠い過去のものではなく、穢れ観の強い北陸や瀬戸内海の漁村などでは昭和時代まで利用された。ヒトの誕生は祝福されるものであるが、一方で出産に伴う血の穢れという不浄観を生み出し、女性に隔離と別火のタブーを課した。現存する産屋建築を紹介しながら、産屋習俗にみる空間的、時間的隔離の諸問題を解き明かしてみたい。

- 日 時 : 2019年9月28日 (土) 15 : 00~17 : 00
- 講師 : 板橋春夫 (日本工業大学建築学部教授)
- 会 場 : 法政大学市谷田町校舎 T411 教室
- 参加費 : 500 円 (学生無料)

